

朝から機青連

2月5日 於 Zoom
株式会社サカテック 坂下 浩一

去る2月5日に40周年記念事業の一環である、朝から機青連をZOOMで開催いたしました。今回も蔓延防止等重点措置の発令期間にあった為ZOOM開催となりましたが、京都府の山下副知事を始め、京都府の職員様、京都産業21の職員様、中村顧問、会員様合計39名もの皆様にご参加頂く事ができました。誠にありがとうございました。

1回目の事業の朝まで機青連では機青連の歴史を紐解き、2回目の事業の中村文昭様講演会では「何のために」を考える事の大切さを学びました。そして3回目の事業となる今回の朝から機青連では、今までの2回の事業を通して得られた、それぞれの抱く「何のためにキセイレンで学ぶのか」「キセイレンの存在意義」などについて互いの思いを話し合う中で、これから先のキセイレンのビジョンを構築していく機会と致しました。第1部は未来構想会議と題し、諸先輩方から「自社の携わる業界の未来」と「これからの未来」についてのお考えをお聞かせいただき、第2部ではビジョン構築座談会と題し第1部のお話を受け機青連のビジョンを構築するための議論を致しました。また第1部で御参加が叶わなかった先輩方からは事前にビデオメッセージを頂き、YouTubeで配信するという取り組みも行いました。

京都府の山下副知事のお話に始まり、諸先輩方の考える未来像は多種多様で積み上げられてきた経験から頂くお話は、我々に多くの知見を与えてくださいました。中でも共通して感じられたのは、これからはより人に依存せずAIなどを活用した設備に重点が行くであろうという事、そんな中で人は感覚や感性などを大事にし差別化を図っていく事が重要である事、そしてそれでもやはり最後は人が重要であるという事でした。拝聴しとても胸に染み入る思いでいっぱいになりました。

そして第2部ビジョン構築座談会にて3つのグループでのディスカッションを行いました。ビジョンを構築していくにあたり、そもそもビジョンとは何かという根本的なところから問うていく事から始まり、ビジョンは大事だと知りながらも真剣に向き合える機会は少なかつたかもしれないので、大変貴重な機会になったのではないかと思います。それだけにとどまらず機青連入会のきっかけや、社業の状況などざくばらんに話すこともでき、会員同士の絆を深め合える親交の場にもなり、大変充実した時間を過ごすことができました。

今後、今回で得られた知見や意見にさらに磨きをかけて、式典で発表するビジョンを構築してまいりたいと思います。ご参加いただきました皆様には、重ねて御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

